

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 012	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会
要望問題名 ナシの芽枯れ症状の原因究明と対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 横浜市及び川崎市のナシ園において、豊水・筑水・香麗の長果枝が、芽出し前に、芽が枯れる症状が現れた。 同一品種の短果枝や上記以外の品種については、特に芽枯れ症状は発生していない。 上記品種の長果枝に発生した原因と今後の対策について、気象状況及び生育ステージ、また樹体(特に結果枝) 栄養の観点、秋肥などの施肥体系の見直しの観点から、引き続き研究をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部、生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) X I 地球温暖化に対応した生産技術の開発 2 気候変動に適応する技術開発 ニホンナシの耐凍性評価およびシミュレーション技術の開発		
対応の内容等	ナシの発芽不良は、当所果樹ほ場でも現地での報告と同様に発生し、主な発生原因は秋冬季の高温や施肥管理等により耐凍性が低下したことに伴う凍害です。 令和2年秋から令和3年冬に腋花芽の耐凍性調査を実施したところ、令和2年春季の花芽枯死の発生が多かった品種ほど耐凍性が低い傾向がありましたので、耐凍性を向上させることが対応策になると考えられます。 品種や生育ステージごとの耐凍性評価や肥料資材による耐凍性向上効果の検証などについて、上記試験研究課題の中で引き続き実施していく予定です。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			